

# 厚生常任委員会記録

平成30年5月2日（水）

場所：鳥栖市議会 第2委員会室



平成30年 5 月 2 日 日程及び付議事件

日 次	月 日	摘 要
第 1 日	5 月 2 日 (水)	案 件 スタジアム塗装改修事業の概要  〔説明、質疑〕

## 1 出席委員氏名

委員 長	中川原豊志	委員	古賀 和仁
副委員 長	樋口伸一郎	〃	藤田 昌隆
委員	森山 林	〃	牧瀬 昭子
〃	成富 牧男		

## 2 欠席委員氏名

なし

## 3 説明のため出席した者の職氏名

健康福祉みらい部長	詫間 聡
健康福祉みらい部次長兼スポーツ振興課長	古賀 達也
スポーツ振興課スポーツ振興係長	時田 丈司

## 4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主任 大塚 隆正

## 5 日 程

スタジアム塗装改修事業の概要

[説明、質疑]

## 6 傍聴者

なし

## 7 その他

なし



それから、鉄骨をボルトで接合しておりますけれども、そのボルト接合部の締めつけ補修等が主なものでございます。

工期につきましては、平成30年7月から来年の8月を予定しているところでございます。

スケジュールの案でございますけれども、工事につきましては、準備に約2カ月、工事に約10カ月を予定しているところでございます。

現在、入札に向けて準備を行っております、今月中の入札を計画いたしております、6月議会に工事請負契約締結についての追加議案として提案したいということで考えております。

なお、事業費の寄附につきましては、完了後にいただくという制度でございますので、平成30年度につきましては、工事の出来高を寄附でいただき、来年度は、工事完了後に残りの分を寄附でいただくこととなっております。

続きまして、平面図と断面図でございます。まず、平面図でございますけれども、枠組み足場をそれぞれ2列に設置いたします。

メインスタンドにつきましては、南北幅が約180メートル程度でございます。

また、高さですけれども、30メートル近くになりまして、大規模の仮設足場となります。

通常の外壁改修等を行う場合には、箱型の施設、四方を足場で囲みますけれども、今回の工事では、メインスタンド、バックスタンド、サイドスタンドとそれぞれ工事をいたします関係で、1面だけ、メインスタンドはメインスタンドだけの仮設足場を設置することとなるということでございます。

また、4ページのところで、メインスタンド、バックスタンドには屋根がついておりますので、黒く、屋根の下に3段ほどございますけれども、つり足場という特殊なものを設置いたします。

また、先ほど1面でそれぞれ設置するというので、内部と外部の足場を組み合わせるものがございます。

4ページでございますけれども、メインスタンドとバックスタンド——バックスタンドはデッドスペースの上ですね、それから、メインスタンドにつきましては、風除室の上でのほうが少し四角に白くなっておりますが、ここが通路でございます。

通路としては確保いたしますけれども、上部には仮設足場等を設置した状態で工事をすることとなります。

また、工期の関係で、どうしてもシーズンオフが3カ月だけということになりますと、シーズンオフだけでは工事が困難であるために、シーズン中の工事も予定しております。

外側の枠組み足場やコンコースなど、通路上の上部の仮設足場から屋根へつり足場を設置

した状態で、ホームゲーム時には1万人以上の来場者がありまして、安全管理の面が非常に重要であるというふうに考えております。

それから、工事の発注につきましては、3月の委員会でも御説明いたしましたけれども、今回のスタジアムの塗装改修工事費の発注につきましては、工事期間約10カ月の中で、ホームゲーム等、利用しながらの工事ということで、行程の調整、それから、現場作業員の管理、それから、施工上の安全管理が絶対でございまして、絶対に事故を起こさない、それから、市民の安全を確保するという観点から、高度な施工技術力、技術職員、それから、資金力を持つ、全国規模の大手総合建設業に発注をしたいと考えております。

ただ、委員会のほうでも御意見をいただきました地元企業への配慮につきましては、今回の企業版ふるさと納税という趣旨に鑑みまして、その点を踏まえまして、受注された企業への市内企業への協力要請を行うように、強く言ってまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

#### **中川原豊志委員長**

説明等がございましたけれども、何か御質問なり御要望等ございましたら、お受けいたしたいと思いますがいかがですか。

#### **藤田昌隆委員**

今、ふるさと納税という話が出ましたが、ふるさと納税の考え方は、もらったほうは、基本的に地元の、例えば地産地消、地元の食材を使ってね、お返しするとか、要するに、もらったお金をきちんと地元に戻すと、地元の企業を育てる、例えば、そういう特産物を育てる、発展させる、それが大きな目的でしょう。

それで、今のお話を聞くと、また、ゼネコンにやって、最後だけつけ加えたように、地元に戻りますということですが、ゼネコンにせないかんのは、特殊ということですが、それから、安全性という言葉が言われましたけれども、足場を組むのに、どうも皆さん方、足場を組むのに特殊と、だから大手ゼネコンと、そういう発想みたいですけど。ほいじゃあ、足場を組む……、多くのゼネコンとか、資金力を持った、どうのこうのと言われましたけど、結局、足場を組むにしても、やっぱり地元と、それで足りなかったら、今度は福岡近辺とか、大体そういう仕事のやり方なんでしょう。

だから、私に言わせると、ゼネコンを入れなくても、地元企業でJVを組めば、私は、この仕事はできると思うんですよね。さっき言った、ふるさと納税の考え方からについても、JV組めばできるんですよ、これは、わざわざゼネコンで頼むまなくても。

それでこれ、最初にしたのは大林組だったのかな。大林組と、地元の今泉建設、大島組、マツコー、そういうところでしょう。



今回はもう大林組はこの仕事をとれませんので、だから中堅ということが出ているんですけど、私は、地元の企業だけでJV組んでも、この仕事はやれると思うんですよ、特殊、特殊と言われますけど。

実は今度、競馬場もスタンドのところペンキ塗りをやるわけですよ。それも特殊っていう言葉は出ませんでしたよ、あそこでも。だから、競馬場のスタンドとほとんど変わりませんよ、あれ、考え方は。

だから、何でゼネコン……、一番いいのは、前回みたいに、建てたところがするのがいいんでしょうけど、その点、大林組がだめということで、今度は中堅になったという言葉が前も出ましたが、私は、その辺は地元でJV組んでもいいと思うんですよ。

それで、じゃあ百歩譲って、おっしゃるところの特殊な部分は、ゼネコンにさせて、そして、もうきちんと、JVじゃなくて、もう単独でさせる、というのが一番、いろいろ考えましたが、それが最終の落としどころかなっち。そういうことは、予算もあるでしょうから、6億8,600万円、この中でできるんじゃないですか。ちょっと、答弁をお願いします。

#### 中川原豊志委員長

できれば、今、藤田議員のお話の中で、地元業者のJVとかでできるんじゃないかと。地元業者のJVでできない理由があれば、それなりのことと。それと、大手と地元のJV。それから、大手と地元との分離発注。そういうふうなものの考え方を、ちょっと整理して、答弁いただきたいなというふうに思います。（「休憩いいですか」と呼ぶ者あり）

休憩しますか。（「ちょっと休憩を」と呼ぶ者あり）

休憩します。

#### 午前10時17分休憩



#### 午前11時57分開議

#### 中川原豊志委員長

再開します。

では、今まで休憩をしておりましたが、その中で、地元の企業への配慮とか、いろいろ出ておりました。

総括的に、部長のほうで執行部の見解と今後の方向性について説明をお願いします。



鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会厚生常任委員長 中 川 原 豊 志 ⑩

